



好評につきFacebookを毎日更新中! /

9

# まるごと 安佐南 & 安佐北。

ひろしま  
ご近所生活!

# 安佐北。

おもしろ  
プレゼント企画中!

ポイントセール  
開催します!!

全種類250円に  
しちゃおう!

生ビール半額!!  
さらに  
唐揚げ半額!

リーグ制覇目前!  
ご近所店主の  
カープ優勝  
マニラフェスタ  
発表!

全品  
2割引き!

幸せを呼び込む!  
噂の!  
おうちリフォーム

ご近所ならではの  
「おいしさ」[オモシロさ]!  
個性派  
グルメ店を  
探せ。

ご近所もA認定  
クーポン特刊!

目的別イエローページ。  
9月のイベントカレンダー  
身近なご近所のヘアサロン。  
ご近所で働く!



学校に行こう! マエダハウジングカップ

ご近所☆  
お試しレッスン

サンフレ応援撮影会開催

ご近所☆サンフレ  
サポーターが集結!

サンプル  
大好き!!

代表に聞いてみた、  
あの有名施設の秘密!

ご近所

# Success SPIRITS

vol.4

安佐南区・安佐北区の施設や企業のリーダーから「成功の精神」を  
伝授してもらう不定期連載。久しぶりとなる第4回目は、安佐北区を中心に  
医療・看護・介護の分野で数多くの施設を展開する  
「にのみやグループ」の代表・二宮正則さんにご登場いただきます!

## 安佐北ナンバーワンを目指す総合医療グループ 日本の医療を“可部モデル”が変えていく!

「当時は介護保険が導入されて医療  
を巡る状況が劇的に変化していた時  
期。医療の現場に立っていると何が求  
められているか自然にわかってくるん  
です。在宅医療をするためには訪問看  
護が必要だし、家に来てほしくない  
という人のためにデイサービスもほしい

「僕、休めない人間なんです。本当は  
ゆっくりできる時間を増やそうと思っ  
て開業したのに、いざ開業すると現場に  
没頭してしまって。逆に自分の首を絞め  
る状態になってしまったっていう(笑)」  
可部を中心に医療・看護・介護の分野  
で数多くの施設を運営する「にのみや  
グループ」。その代表である二宮さんは  
オープンな口調で、まずはグループの  
成り立ちから話をはじめました。安佐  
市民病院などに勤務した後、現在の場  
所に二宮内科循環器科を開院したのが  
42歳のとき。そこから訪問看護ステ  
ーションやデイサービスセンターなど  
を次々と立ち上げていくのですが、それら  
はすべて必要に迫られてのことだった  
と言います。

劇的に変化する状況の中で  
必要に迫られて施設を増設



にのみやグループ代表

### 二宮正則 Masanori Ninomiya

1954年、広島市生まれ。名古屋市立大学医学部を  
卒業後、27歳のときに広島に戻り安佐市民病院など  
の勤務を経て、平成9年に二宮内科を開業する。その  
後、訪問看護ステーションやデイケアセンターなどを  
開設。平成14年には特別養護老人ホームなごみの  
郷を開設。安佐北区を中心に医療・看護・介護の分野  
で数多くの施設を運営する「にのみやグループ」を率  
いる。

「……そうやってひとつずつ増えてきた  
んです」

今のやり方を続けていくと  
日本の医療はバンクする

医療の現状について話が及ぶと二宮  
さんの口調はとたんに厳しくなります。  
「みんな危機感を持たなきゃいけないの  
に気付いていない。今のやり方を続けて  
いくと日本の医療は必ずバンクします」  
少子高齢化時代のこれから、一体何が  
必要なのか? 二宮さんは安佐北ナン  
バーワンのサービスを提供することで  
地域の安心と健康を守るうとしていま  
す。その原点にあるのは、愛着のある地



安佐北区亀山に今年2月にオープンした「にのみやシニア・フィットネス」の様子。「健康への意識が変わる」をテーマに、運動・栄養・医療の面から専門職がバックアップする午前・午後の2部制の半日デイサービス。



「地域に安心を提供し続ける」をコンセプトに掲げるにのみやグループでは毎月二宮内科を会場に「はつらつ!健康教室」という健康講座を開催中。認知症や緩和ケアなどに関わる専門家の話を無料で聞くことができる。

●今月のSuccess SPIRITS●

### 常に危機感を 持って、 自分で行動する

- 1 徹底した現場主義。自分が現場で見聞きしたことを大切にす
- 2 地域への愛着があるので、安佐北区の中で質を上げていきたい
- 3 ひとりでは限界がある。仲間と一緒にやると仕事も楽しくなる



域に恩返しをしたいという気持ちです。  
「僕は安佐市民病院に15年勤務し、  
ここで開業して20年。安佐北で35年  
すごしてきたことのお礼を地域に還元し  
ていきたいし、今やっていることをもっ  
ともっと熟成させたい。この地域で今  
後日本の医療の手本になるような「可  
部モデル」を作ることができればいい  
ですね」  
地域で無料健康教室を行ったり、従  
業員のキャリアアップのためにポイン  
ト制度を導入したりと、次々と斬新な  
改革を打ち出していく「にのみやグ  
ループ」。破綻しかけた日本の医療を  
「可部モデル」が救う日は近いかもし  
れません。